

# 令和4年度指標に対する実績評価

指標の目標年度 令和5年度

評価期間 令和3年度～令和5年度

## 1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（4項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
1-1	所蔵資料点数	482,244点	483,263点	487,708点	490,000点	487,708点	99.53%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及びオンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荻崎の4交流センター図書室(以下、「4図書室」という。)で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む。)の点数							
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書の購入について、検討・良質な図書の収集に努めている。中央図書館の所蔵スペースでは、これ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4交流センターや新規サービスポイントへの配置変えを含めて資料の充実を図る。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始したため、電子書籍による資料の拡充も図る。							
1-2	個人貸出冊点数(視聴覚資料含む)	1,236,562点	1,376,860点	1,488,099点	1,450,000点	1,488,099点	102.63%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室での個人への貸出冊点数(団体貸出を除く。)							
評価	令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休館が発生しなかったことにより、前年度と比べて貸出冊点数は増加し目標値である1,450,000点を達成した。引き続き感染症予防対策及び読書推進、情報発信に努め、サービスの維持向上を図っていく。							
1-3	視聴覚資料貸出点数	52,113点	51,962点	52,270点	85,000点	52,270点	61.49%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出件数							
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネットによる配信サービス等の影響で年々減少傾向である。「貸出期間を図書資料と同様に2週間にしてほしい」「予約・リクエストの対象に含めてほしい」等の意見も多数寄せられている。視聴覚資料においては1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図りたい。							
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.1点	5.6点	5.9点	6.0点	5.9点	98.33%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	市民一人当たりに対する中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室で貸出した資料の点数。(視聴覚資料の貸出、団体貸出及び相互貸借借受貸出等利用者に貸出した全ての点数を9/1現在の常住人口で除して算出する。)							
評価	前年度に比べて増加し目標値に届かなかったものの、98%の水準まで到達している。引き続きサービスステーションの増設や所蔵資料の維持向上に加え、感染症対策も実施していき、利用の増加に努めたい。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始したため、電子書籍による貸出点数の動向も注視していく。							

## 2 市全体へのサービスに関する指標（10項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-1	新規登録者数	5,190人	5,896人	6,820人	6,500人	6,820人	104.92%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館利用カードを作成した人数							
評価	新規で図書館の利用カードを登録する人数は年々増加傾向にあり、令和4年度は目標値である6,500人を達成した。つくば市が人口増加していることに加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休館がなかったことや広域利用や電子図書館サービスの開始、BMステーションの見直し等により登録者数が増加したと考える。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-2	図書館利用カード利用者数	25,964人	28,342人	30,326人	33,500人	30,326人	90.53%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算。団体貸出除く)							
評価	図書館利用カードの利用者数も年々増加傾向にはあるが、目標値の達成には至らなかった。利用しやすい図書館運営に努めるとともに、図書館利用につながるイベント等を実施し、多くの市民の図書館活用の促進を図っていききたい。新型コロナウイルスの影響で開催を見送っていたイベント等も状況を見ながら順次開催していきけるよう努める。また、電子図書館サービスが開始したことにより、来館が困難な利用者にも図書館活用の促進を図っていききたい。							
2-3	来館者数	393,375人	435,851人	478,875人	580,000人	478,875人	82.56%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数							
評価	来館者数についても年々増加傾向にはあるが、目標値の達成には至らなかった。来館を促すようなイベントや貸出利用者の増加につながる企画を検討したり、利用者アンケートの結果等から改善できるところを改善していくことで来館者の増加を図りたい。							
2-4	年間開館日数	266日	260日	285日	293日	285日	97.27%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数							
評価	令和4年度は9月末にシステムの更新に伴う臨時休館があったため、目標値の達成には至らなかった(年度当初は予定していた6月の特別整理期間を開館する等の対応はとっていた。)。今後、館内整理日や祝日開館の振替休館等の見直しにより、開館日数の確保に努める。							
2-5	年間開館時間	2,423時間	2,450時間	2,687時間	2,760時間	2,687時間	97.36%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間							
評価	前年度と比較して、開館日数の増加に伴い年間開館時間は増加した。年間開館時間については、目標値に対して97%と概ね達成している。							
2-6	返却窓口への返却冊数	116,371冊	92,810冊	108,755冊	130,000冊	108,755冊	83.66%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	4図書室、並木・広岡・大穂・豊里、島名交流センター及び市役所のブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数							
評価	返却窓口への返却冊数について、令和3年度に減少した本の返却数と比較すると増加しているものの、令和2年度までの水準まで回復していない。ブックポストでの返却に制限(紙芝居・視聴覚資料は不可)があることや返却処理するまでに時間を要する等の課題がある。今後、サービスステーションの位置や配送頻度についても引き続き検討していき利用者の利用向上を図る。							
2-7	予約件数	131,036件	167,352件	180,325件	120,000件	180,325点	150.27%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、4図書室、自動車図書館及びホームページからの予約受付件数							
評価	予約件数は年々増加傾向にあり、目標値に対して150%の達成率となった。令和4年度は新たに予約本の受取館(サービスポイント)として本庁舎のコミュニティ棟を増設したことや、Webサービス利用においてパスワード設定の年齢制限を撤廃したことでこれまでインターネットから予約申込ができなかった児童の予約件数の増加等が要因として考えられる。令和5年度にはさらにかとりだい交流館や研究学園小・中学校図書室もサービスポイントを設置し、利用者の利便性の向上に努める。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数 (簡易検索の検索件数)	371,691件	445,989件	580,449件	390,000件	580,449件	148.83%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数(OPACのトップページで検索をした件数であり、詳細検索等は含まない。)							
評価	ホームページでの検索数も年々増加傾向にあり、目標値に対して148%の達成率となった。令和4年度は新たに電子図書館サービスが開始となったことや、Webサービス利用においてパスワード設定の年齢制限を撤廃したこと等、インターネットからできるサービスが拡大されたことでホームページへのアクセスが増加したと考えられる。引き続き、読書推進活動から本への興味を増し、アクセス件数の増につなげたい。							
2-9	図書館情報紙の発行回数	7回	8回	7回	6回	7回	116.67%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙の発行回数							
評価	令和4年度の実績として、図書館情報誌「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年1回ずつ発行したほか、所蔵資料の紹介紙「としよかんの本」を4回、テーマ別の図書資料や探し方を紹介する情報紙「パスファインダー」を1回発行し(改訂含む)、計7回の発行となった。引き続き、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、図書館の利用促進を図っていききたい。							
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	23回	104回	152回	100回	152回	152.00%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数							
評価	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で1回あたりの参加者の人数を制限しながらの開催ではあったが、概ね年度当初の予定通りにおはなし会を実施することができ、目標値の達成に至った。今後も状況を策を踏まえた上で、定期的なおはなし会を実施していき、図書館の利用促進につなげていききたい。また、科学技術推進課と協力してオリヒメによる遠隔地からのおはなし会の実証実験も実施した。							

### 3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標 (5項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,735冊	2,784冊	2,797冊	2,700冊	2,797冊	103.59%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数							
評価	計画的に購入を行い所蔵数を増やすことで、目標を達成することができた。読書バリアフリー法が制定され、今後更なる高齢化が見込まれるため、引き続き計画的な蔵書構築に努める。							
3-2	大活字本の貸出冊数	1,960冊	2,275冊	3,028冊	2,300冊	3,028冊	131.65%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の貸出冊数							
評価	年々大活字本の貸出冊数は増加傾向にあり、令和4年度は目標値の2,300冊を達成した。蔵書冊数が増えることで、利用者のニーズに合った本を所蔵でき貸出冊数の増加にもつながるため、引き続き資料の質を高めていく。また、電子図書館サービスにおいては活字のサイズを自身で変更することが可能なため、電子図書館サービスの機能の周知等も図っていききたい。							
3-3	外国語資料の所蔵点数	11,046冊	11,028冊	11,208冊	11,000冊	11,208冊	101.89%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめ、中央図書館で所蔵する児童書及び一般書の外国語資料数							
評価	計画的に購入を行い所蔵数を増やすことで、目標を達成することができた。つくば市は、外国人居住者の割合が全国平均よりも高く、今後も外国人居住者数は増加する見込みである。引き続き、外国語資料の購入予算増や積極的な寄贈の受入れにより、所蔵点数を増やしていききたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-4	外国語資料の貸出冊数	10,672冊	10,858冊	11,206冊	8,500冊	11,206冊	131.84%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図り、図書サービスの充実を目指す。
指標の説明	外国語資料の年間貸出冊数(児童書と一般書の合計)							
評価	所蔵外国語資料の充実を進めており、外国語資料の貸出点数については増加傾向にある。令和4年度も、目標値に対して131%の達成率となっている。今後も外国語資料を紹介するイベントの企画など、維持向上を図りたい。							
3-5	点字資料の所蔵点数	237点	238点	246点	230点	246点	106.96%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数							
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成を行い、目標を達成することができた。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに、計画的に点字資料を購入することでサービスの充実を図りたい。							

#### 4 地域支援サービスに関する指標 (3項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	12,712人	9,677人	12,316人	14,000人	12,316人	87.97%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出人数							
評価	令和4年度から3号車の運行を開始し、新たなサービスステーションの増設等、市内全域への図書館サービスの提供を図ってきた。目標値の達成には至っていないが、令和3年度に減少した利用者数が、令和4年度には令和2年度の水準まで回復した。市域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、引き続きステーションの見直しや自動車図書館の情報発信やイベントへの出展を企画していき、更なるサービスの拡充を図りたい。							
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,415冊	37,244冊	43,337冊	55,000冊	43,337冊	78.79%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)での年間貸出冊数							
評価	自動車図書館の利用者と同様、令和3年度に減少した利用者数が、令和4年度には令和2年度の水準まで回復した。利用者層をニーズを反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図りたい。							
4-3	相互貸借貸出冊数	575冊	1,862冊	1,743冊	1,500冊	1,743冊	116.20%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受けをして貸出しを行った資料冊数							
評価	前年度と比較して相互貸借の貸出冊数はわずかに減少したものの目標値は達成している。今後も、利用者が希望する資料にアクセスできるよう、制度の周知を図るとともに、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていきたい。							

#### 5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標 (3項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,389件	1,440件	1,458件	1,800件	1,458件	81.00%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館カウンター、電話、メール等でのレファレンス受付件数							
評価	前年度より微増はしているが、目標値には達しなかった。引き続きサービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図ることで図書館サービスの充実に努めたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
5-2	ボランティア登録者数	150人	166人	156人	160人	156人	97.50%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)							
評価	前年度からわずかに減少し、目標値をわずかに下回った。平日活動のグループが多いため、就業している方や学生等は継続的な参加ができず登録できない状態にある。新たなボランティア活動の検討や活動日の見直しを図ることで、ボランティアの活動の幅を広げていきたい。また、配架ボランティアにおいては、毎年登録者が集中し年度の途中で募集を締め切っている状況である。できるだけ多くの方が活動できるように工夫を考えていく。							
5-3	ボランティア活動者数	1,006人	1,557人	1,906人	2,200人	1,906人	86.64%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した年間延人数							
評価	令和4年度は、おはなし会を実施できたことで活動者数の増加につながったが目標には達しなかった。新型コロナウイルス感染症の影響で見送っていたイベント等の実施やボランティアの活動方法の検討を行うことで、更なるボランティアの協力を仰ぐ体制を構築し、図書館サービスの充実を図りたい。							

## 6 学校図書館等支援に関する指標 (6項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	103回	120回	126回	150回	126回	84.00%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数							
評価	年々増加傾向にあるものの団体貸出利用回数は目標に達しなかった。読み聞かせ用の本等を個人のカードで貸りていく利用者も一定数居ることから団体貸出サービスの周知とともに、団体貸出が利用しやすいような環境を整えていく。							
6-2	団体貸出図書冊数	6,912冊	7,212冊	8,187冊	15,000冊	8,187冊	54.58%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対するの図書貸出冊数(1回につき、1団体300冊まで3か月間貸出可)							
評価	貸出冊数についても、利用回数と同様に年々増加傾向にあるものの目標に達しなかった。魅力ある図書を揃えるとともに、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めていく。							
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	0回	4回	6回	10回	6回	60.00%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数							
評価	新型コロナウイルス感染症の影響で各施設においても実施の可否を検討している段階である。学校等と協議を行い、実施が可能な場合には、積極的に受入れを行ってはいるが、目標には達しなかった。引き続き、積極的に受入れを行っていくことで読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習受入人数	0人	0人	16人	40人	16人	40.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数							
評価	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の流行により職場体験の受入れを中止していたが、令和4年度は学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い受入れを行った。各施設においても実施の可否を検討している段階であり、目標値の達成には至らなかった。今後は、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。しかしながら、図書館の利用者数が多くなる夏休み期間に依頼を受けることが多く、人員配置等は課題である。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-5	ジュニア図書館員 受入人数	0人	0人	0人	75人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	4年生から6年生を対象にした図書館の業務体験事業に参加した児童数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2・3年度に引き続きジュニア図書館員の実施を見送った。職場体験学習の受入れと同様に、職員の人員配置が課題である。							
6-6	学校図書館 司書教諭補助員等の 研修参加人数	0人	49人	51人	170人	51人	30.00%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校図書館司書教諭補助員及び司書教諭等を対象に実施される研修の延参加人数							
評価	令和3年度は対面ではなく、参加者に研修動画を視聴してもらうという形式で行った。研修の開催場所や時間等の課題もあるため、今後も対面以外の方法を検討しながら多くの方が参加できるよう工夫しながら実施していきたい。							

#### 7 市民満足度に関する指標（1項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R4年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
7-1	利用満足度調査の満足度	85%	78%	90%	80%以上	90%	113.00%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	年度末に、中央図書館内で利用者に対して図書館サービスについて満足しているかどうかの調査を実施する。							
評価	「満足」と「やや満足」を合計した割合は、前年度から増加し目標を達成した。令和4年10月のシステム更新で電子図書館サービスの開始やWebサービス利用においてパスワード設定の年齢制限を撤廃したことで、図書館のホームページに関する満足度の向上につながった。図書館の改修に向けた利用者の意見や要望、その他自由記入欄への意見や要望をもとに改善できるところから改善していき、今後も利用者目線での図書館サービス向上を目指していきたい。							